

～～第7975回～～

飯豊山

～H28. 7. 23-26～

7/23 切合小屋が満員で宿泊予約が取れない為、予定を一日ずらし、2名減の5名での出発となった。一日目は弥平四郎登山口の大坂屋旅館まで車での移動で歩行は無し。静岡から休憩時間も含め7時間半で到着しました。大坂屋は築400年の古民家で夕食は山菜種々と馬刺、岩魚、天ぷら等豪勢で味も素晴らしく、一泊二食6500円は超格安でお勧めの宿です。(酒類等の持ち込み自由) 大坂屋を始め、弥平四郎の郷の人達は、京都から平家の落人としてここに住み移り、会津漆器の木地師を主な生業としてきましたが、飯豊山信仰と共に旅館業や歩荷(小屋への荷揚げ)で一時期は、郷が栄えたそうです。

7/24 朝食はお弁当にしてもらい、早々に出発して登山口⑯に15分ほどで到着。⑯は満車なので道端に駐車して登り始める。いきなり上ノ越までの標高差約600mの急登に一汗かく。この間に朝食もとったが2時間も掛かってしまい、堂々としたブナの巨木や小鳥の歌声を楽しむ余裕はなかった。上ノ越から巻岩山、疣岩分岐、三国小屋(水は有料)、種蒔山、切合小屋(1550m)まで4時間弱。アップダウンはあるが標高差約300mの歩き安い道で鶯の声やヒメサユリ、センジュガンピ、マツムシソウ等の高山植物を楽しみながら登った。小屋には12:10と早く着いたが、飯豊本山にガスが掛かり、眺望もなくこれから雨にもなるかも知れない、明日は天気が回復しそうと云う事で山頂往復は明日に決定。少し仮眠して早速、小屋前で酒宴が始まった。小屋の飲料水は豊富でトイレも清潔でした。

7/25 日の出を拝んでから4:55小屋を出発。歩き始めて10分程で雪溪に出会うが、50m程のザクザクした残雪でアイゼンは不要でした。草履塚(1908m)、姥権現(1892m)、御秘所(神域へ入る前の試練の岩場)を過ぎ、御前坂(標高差200m)の急登を登り、一王子(2070m)から緩やかな道となり飯豊山神社(2102m)まで約2時間、信仰の山の雰囲気とお花畑を楽しんだ。神社では、ここまで来れた安堵感と感謝に参拝しました。神社から飯豊山頂上(2105m)まで15分の道のりイデリンドウに初対面。流れる霧の間に見える残雪の山景色も素晴らしかった。下山は切合小屋まで1時間40分。ここで水を補給し荷物を整え疣岩分岐まで2時間半で往路を下る。分岐からは新長坂ルートで松平峠、祓川山荘(廃屋)経由で下る。松平峠辺りでは、花崗岩の山肌が浸食され深い谷となった素晴らしいV字溪谷の景色が見えた。長い下りで分岐から2時間15分で弥平四郎登山口⑰に無事到着。腹は減り膝は笑い疲労こんぱい、しかし満足。大坂屋へは15時に到着。

7/26 朝食を済ませ7時に出発。帰路は磐越道を西へ新潟から北陸自動車道で長岡へ、関越自動車道で鶴ヶ島、圏央道で厚木、そして東名高速で静岡へ15時到着。

参加者：5名(静岡南2、静岡西3)

地図：飯豊山・大日岳・川入

天候：7/24 晴れのち曇り 7/25 晴れ

コースタイム：大阪屋 500＝弥平四郎登山口⑤515…上ノ越 720…疣岩分岐 850…三國小屋 1000-25…種蒔山 1140…切合小屋 1210-455…草履塚 525…姥権現 545…御秘所 608…一王子 635…飯豊山神社 650…飯豊山頂上 710-40…神社 755…姥権現 840…草履塚 900…切合小屋 920-45…種蒔山 1005…三國小屋 1105-1130…疣岩分岐 1215…松平峠 1315…弥平四郎登山口⑤1430(車)＝大阪屋 1500

記録：静岡西 小澤